

研究課題 (テーマ)	とやまで遊ぶ、とやまに住む、とやまで働く魅力の PR を通じた県内定着率向上		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	堀川教世
	機械システム工学科	教授	中川慎二
	機械システム工学科	准教授	寺島 修
研究結果の概要			
<p>○ 背景と目的 ○</p> <p>富山県立大学を卒業した後、富山県内企業に就職、あるいは、富山県立大学に進学し、引き続き富山で暮らして活躍する学生さんの数を増やすことを目的に、以下の取り組みを行いました。</p> <p>○ 目的の達成に向けた4つの取り組み ○</p> <p>就職活動が始まる前の学生さんを対象に、県内企業のことや、県内に住むメリットを知ってもらう機会を複数回設けました。また、特に県外出身の学生さんに富山の魅力や富山での働き方、富山での遊び方を PR し、卒業後も富山に残る意欲をもつ学生さんの増加を目指しました。</p> <p>(1) 県内企業の現地/オンラインでの見学 (対象：学科全学年)</p> <p>(2) 県内企業で活躍する OB による講演 (対象：学科一年生)</p> <p>(3) 県内企業や県庁労働政策課の方による講演 (対象：学科二年生)</p> <p>→ (1)-(3)により県内企業への興味関心を低学年時から高めることが目的</p> <p>(4) 県内で活躍する方による富山の魅力・遊び場・働き方 PR (対象：学科の二年生)</p> <p>→ (4)により特に県外出身者へ富山に住むこと・富山ライフへの興味関心を高めることが目的</p> <p>○ 結果 ○</p> <p>(1)では、見学に参加した人数自体はさほど多くはなかったが、その分内容の濃い見学を行うことができました。その結果、県内企業へ興味関心をもつ学生さんの大幅な増加に加え、県内企業に就職を希望する学生さんを増やすことができました。</p> <p>(2), (3)では、学科の一年生全員を対象に、本学 OB で現在県内企業にお勤めの方に講演をしていただきました。その結果、お勤めの企業や県内企業への就職、県立大学の大学院への進学への学生さんの興味関心を高めることができました。</p> <p>(3), (4)では、県庁の方や県内で活躍中の著名人の方のお話を聞き、富山に対する学生さんの印象を変え、富山で暮らす・遊ぶ・働く魅力やそのコツ・ポイントを伝えることができました。</p>			
<p>今後の展開</p> <p>今年度の取り組みにより、所定の成果が得られたため、県内に就職する学生さんや富山県立大学の大学院へ進学する学生さんの増加が期待できます。今後も継続的にこのような取り組みを行い、県内に残り、定着して、引き続き富山県で活躍できる学生さんの増加につなげます。また、これまで、県外出身学生は富山県内企業や富山県に住むことへの興味関心が低い傾向にありましたが、富山での遊びや暮らしに関する PR を行うことで、これを改善できる可能性が見出されました。このため、今後も様々な観点からの富山の魅力 PR を行い県内定着率向上を目指します。</p>			



(1) 県内企業見学の様子



(4) 県内で活躍中の方による富山ライフの魅力発信